

▼関西

老人ホームのボランティア

鈴木 優(KTV)

同好会活動や飲み会で和気あいあいと楽しむ当クラブですが、いつからか「たまには社会貢献でもやらへんか？」という声が上がりました。社会貢献といえば、真っ先に老人ホームの慰問が頭に浮かびます。現役時代はテレビやラジオで多様な才能を発揮してきた面々。早速色々なアイデアが出ました。

まずは昨年、クラブのメンバーで結成したおやじバンド「白秋バンド」が浮かびます。音楽好きがギターやベースを持ち寄ってバンドを結成し、秋の懇親会で見事デビュー・ライブを成功させました。

次に仲間の一人が劇団を作つて活動しているとの事。聞けばテレビ和歌山出身の女性アナウンサーが地元の宝塚でコミカルな一座「宝塚笑(しよう)劇場」を作り、練習を重ねて時々公演を行っているらしい。

この2つをコラボしてホームの皆さんに楽しんで貰おうという事になりました。コーディネートは朝日放送出身のアナウンサー氏。お

しやべりはお手のものなので司会進行も任せられます。

普通はこれで座組完了ですが、もう一味、加わる事になりました。

当クラブでは時々定例懇話会を開催しており、今月は専門家の逸見先生をお招きして「フレイル予防のための手足指ヨガ講座」を開催したところ、転倒を恐れる会員に大好評。そこで、この講座を慰問のメニューに加えることに決めました。

本番は7月9日の火曜日。場所はデイサービスセンター「ツクイ宝塚安倉」です。

梅雨時ながら何とか天気は持ちこたえ、「バンド」「劇団」「ヨガ講座」のメンバーに加え、記録・音響・進行のために事務局から3名も参戦。緊張の中、初体験ボランティアの幕が切つて落とされました。

トップバッターは我が「白秋バンド」の昭和歌謡。毎月、京都河原町のカラオケ館で練習した成果の選りすぐりの3曲を披露。『上を向いて歩こう』『高校三年生』『六甲おろし』といずれもご老人に馴染みの歌だったので一緒に楽しむ

事ができました。途中で学帽・学ランを着せられ、最後はメンバーの一人(実はプロの歌手)のアンコールまで聴いてもらいました。



続いては手足指ヨガ講座。これは命に関わるワークシヨップなのでホームの皆さんも真剣そのもの。足の指のマッサージが他の身体の部位の健康に役立つという貴重な体験ができたようです。

そしてトリは宝塚笑劇場によるミュージカル『水戸黄門』。お馴染みの主題歌に乗って時代劇の格好の女性軍が登場すると拍手喝采。とても素人とは思えない歌と芝居、さらにおまけの南京玉すだれの妙技に大満足のフィナーレ

となりました。



本番を終えた後は、出演者全員で場所をカフェに変えて反省会という名の飲み会。早速「またやろう」の声も上がりました。各地区の皆さん、もし我が旅芸人一座にご要望がありましたら関西民放クラブ事務局までお問い合わせください。